

議会ガイド



寒くても健脚健在、元旦マラソンが1月1日(土)に行われました。体育センターから津軽中里駅までのコースを駆け抜けました。

トップでゴールした荒関天空さん(五所川原第一高校1年)は「吹雪いていて肌で寒さを感じたがゴールした瞬間に爽快な気持ちになった」と笑顔で話し、清々しい走り始めに満足の様子でした。

第4回定例会 (令和3年12月)

目次	■ 第4回定例会	2
	■ 一般質問	3~6
	■ 第3回臨時会	7
	■ 活動報告だより	8
	■ 委員会だより	9
	■ 議会の動き	10

コロナ禍で苦境の農家へ

米価下落緊急支援

第4回 定例会

11月29日
～12月7日

補正予算

■一般会計補正予算 第4号

補正前総額

107億8099万2千円

補正額

1498万2千円

補正後総額

107億9597万4千円

主な補正額(歳出)は次のとおり。

□衛生費

・新型コロナウイルス3
回目接種経費

938万6千円

□商工費

・暮らし活力増進交付金
(マイナンバーカード
取得者向け商品券追加
分)

559万6千円

■一般会計補正予算 第5号

補正前総額

107億9597万4千円

補正額

▲7985万7千円

補正後総額

107億1611万7千円

補正前総額

16億5667万8千円

補正額

2億4292万2千円

補正後総額

18億5575万6千円

主な補正額(歳出)は次のとおり。

□社会教育費

・総合文化センター抗菌
畳設置工事

261万6千円

■一般会計補正予算 第6号

補正前総額

107億1611万7千円

補正額

1億222万5千円

補正後総額

108億1834万2千円

主な補正額(歳出)は次のとおり。

□民生費

・子育て世帯への臨時特
別給付金

5320万円

□農林水産業費

・米価下落緊急支援交付
金

4822万円

■国民健康保険特別会計 補正予算第3号

補正前総額

16億5384万6千円

補正額

2億3090万円

補正後総額

18億5589万3千円

水道事業特別会計補正
予算第2号

補正前総額

2億2280万4千円

補正額

809万6千円

16億5667万8千円

1億4292万2千円

8万円

1億4300万2千円

介護保険事業特別会計
補正予算第4号

補正前総額

18億5575万6千円

補正額

13万7千円

補正後総額

18億5589万3千円

水道事業特別会計補正
予算第2号

補正前総額

2億2280万4千円

補正額

809万6千円

補正後総額

2億3090万円

主な補正額(歳出)は次の
とおり。

・建設改良費

809万6千円

■中泊町国民健康保険税 条例の一部改正

全世代対応型の社会保

障制度を構築するための
健康保険法等の一部改正
に伴うもの

■中泊町予防接種健康被
害調査委員会条例の一
部改正

委員の名称変更に伴い
現在の名称に改めるもの

■中泊町議会議員の議員
報酬及び費用弁償に関
する条例、中泊町特別
職の職員の給与に関す
る条例、中泊町職員の
給与に関する条例の一
部改正

期末手当の支給割合を
改めるもの

■青山雅晴議員に対する
議員辞職勧告決議

町議会の信頼を失墜さ
せた行為の社会的、道義
的責任を求めするため

発議

令和3年第4回定例会が、11月29日から12月7日までの日程で開かれました。29日は、追加提案のあった町議員、町特別職、町職員の期末手当に関する条例改正案を先議し、原案のとおり可決されました。

6日には一般質問が行われ、今博子議員、荒関富雄議員、塚本悦子議員、田中洋議員の4名が町部局の答弁を求めました。

最終日の7日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計補正予算など議案7件、報告1件、発議1件のいずれも全会一致で承認、可決しました。



稲わら焼きゼロへ！ これまでの取り組み、 今後の方針は



すき込み後の様子

議員

稲わら焼きは、県内の水稲作付面積のうち約1%ほど行われ、そのうちの77%が西北地域に集中していると新聞で報道をされていた。

町が実施してきた稲わら焼き防止の取り組みや対策の経緯はどのような状況か。

課長

平成22年度年から稲刈り終り時期をめどに各農業者へすき込みや収集を呼びかけ、実施者には500円/10アール以内で補助金を交付してきた。そのほか、防災無線や町広報紙及び折り込みの「農業生産情報」などで啓発を図っている。

議員

当該新聞記事では、稲わらの処理に悩んだら県や各市町村の担当課へ相談するように促していたが、町の相談者にもどのように対応をするのか伺う。

課長

相談があった場合は、すき込みや敷きわらとしての有効利用を説明するほか、町所有のローバレーラを貸し出し、収集するよう要請している。

また、県では稲わらの有効利用の促進及び焼却防止に関する条例を制定し、資源循環など稲わらを利用して「日本一健康な土作り運動」を展開している。



ローバレーラを使い、ローラ状にする様子

議員

稲わら焼きゼロを目指し、焼却による有害物質の発生を抑えるよう、これからの町の視点と対策は。

課長

地域住民の健康に悪影響を与える、交通障害の一因になるなどの問題があるが、直ちに法規制や罰則などで対処することにも多くの困難がある。

補助金制度や有効利用方法などで啓発を図るほか、稲わらが必要とする事業者などのマッチング支援を考えていく。

また、国や県が有害物質の排出量削減に向けた計画などが策定された場合は、速やかに検討を重ね、わら焼きゼロを目指して取り組んでいく。



定住自立圏の現状と 施設管理の広域化は！ 広域行政の推進を



荒関 富雄 議員

議員 五所川原圏域定住自立圏
について概要を示せ。

副町長 国が定めている定住自立圏
推進要綱に基づき、五所川原

市を中心に、北郡は中泊町と鶴田町、
西郡はつがる市、鱈ヶ沢町、深浦町
の西北圏域6市町で発足している。

定住に必要な生活機能を確保し、
住民が安心して暮らしていけるよう、
将来像や具体的な取り組みを定めた
共生ビジョンに基づき各種事業を实
施している。

圏域で計画や事業を決定する際
は、各事業分野で組織されるワーキ
ング部会に構成市町担当部局が参画
し、最終的に構成市町長が集まる会
議で決定することとなる。

議員 共生ビジョンの概要と進
捗状況、計画内容は。

課長 ①医療・福祉や教育、産業、
生活環境に係る生活機能強化

の分野、②道路・交通やICTイン
フラ、移住・交流促進に係る、結び

つき・ネットワーク強化の分野、③
人財育成等に係る圏域マネジメント
能力強化の分野の3つに大別され、
さらに細分化された施策・事業で構
成されている。

平成28年度から令和2年度までの
第1次共生ビジョンでは29事業に取
り組み、介護認定審査やごみ・し尿
の共同処理など、広域で行うべき事
業は継続し、当時の新規事業として、
病児・病事後保育やファミリーサポー
トセンターの広域利用化、図書館の
相互利用を可能とするなど成果があ
った。医療に関しては、つがる総合
病院を高度医療を担う中核病院に、
金木病院などをサテライト医療機関
に位置付けることで、入院を含めた
一連の医療が圏域内で完結するよう
努めている。

令和3年から令和7年までの第2
次共生ビジョンでは、SDGsの理
念を取り入れながら、実施すべき事
業は継続し、新たに成年後見制度に
対応する中核的組織の設置や、教育
支援センターの広域利用化、稲わら
焼き防止の推進などを含めた32事業

を推進していくこととなっている。

議員 スポーツ施設などの広域
管理の検討は。

副町長 圏域内にある広域の大会な
どが実施されるスポーツ施設

などは、各市町が設置・管理してい
る。人口減少や財政状況を踏まえる
と、市町単独の維持管理で難しくな
ることから、広域で維持管理できる
新たな枠組みや県の支援が必要であ
ると考え、町では、西北圏域2市4
町での県知事への重点事業要望にお
いて、町単独の重点事業として要望
した。

県の方針としては、「全国都道府
県教育長協議会を通して、引き続き
国に働きかけてまいります」と示さ
れている。

町として、今後も圏域の会議の場
で協議を重ね、県へ要望していきたく
いと考えている。また、他の分野で
も圏域の住民が安心して暮らしてい
けるよう取り組みを続ける。



自治体DXへの 取り組みと 町の考えを問う

議員 自治体DX推進計画及び
推進手順書の公表を受け、
町の現状や課題を問う。

町長 国は、自治体の情報システム
の標準化・共通化などデジ
タル社会構築に向けた各施策を効果
的に実行していくために、国が主導
的な役割を果たしつつ、全国の自治
体が足並みをそろえて取り組んでい
く必要があるとしている。



町議会では令和元年第3回定例会(9月)から
タブレット端末導入、会議資料のペーパーレス化

デジタル化の推進で、住民の利便
性向上と併せて業務の効率化を図り、
人的資源をさらなるサービス向上へ
つなげていくことを求めているもの
と考えている。町としても、計画を
策定し、取り組みを進めていきたい。

また、国では自治体情報システム
の標準化・共通化、マイナンバーカ
ードの普及促進、行政手続きのオン
ライン化、AIなどの利用促進、テ
レワークの推進、セキュリティ対策
の6つの重点事項を示している。

町では既に、テレワーク実証実験
事業、チャットボット導入業務、業
務棚卸による標準化事業、マイナン
バーカード普及促進事業は取り組ん
でいる。

議員 町職員の研修や関連部署
の配置の考えは。

町長 人材育成に関しては、2年
前から県庁へ町職員1名を派
遣し、政府の動向やデジタル化政策
を学ばせているところである。

今後は、町職員の研修会や専担組

織の設置など、デジタル社会に対応
できる体制を整備したいと考えてい
る。

町民へのサービス向上が前提とな
ることから、情報機器の取り扱いに
慣れていない方や通信環境や機器を
持たない方への勉強会、マイナンバ
ーカードを活用してインターネット
で町民が各種手続きを可能とする行
政手続オンライン化のメニューの追
加、総務省の設定した高いセキュリ
ティレベルのセキュリティクラウド
へ移行するインターネット接続のセ
キュリティ強化などの実施を検討す
る。

自治体の情報システムの標準化・
共通化については、目標時期の令和
7年度までに基幹系17業務を標準仕
様に準拠したシステムへ移行する必
要があることから、国の動向及び当
町の財政事情を考慮した上で、積極
的に取り組む。

町運動公園内施設の 維持管理と 今後の方針はどのようなか



田中 洋 議員

議員 野球場のバックスクリーンは、さび付いた骨組みだけが残され、スコアボードも一部危険箇所が取り外され、使用できる状態ではないが、整備の検討や実施計画は。

長 課 野球場は平成元年に整備され、33年が経過している。老朽化が進んでおり、バックスクリーンは鉄骨部の腐食によってボードが飛散する恐れがあるため、ボード部分を撤去した。スコアボードも鉄骨部の腐食が進んでいることから立ち入り禁止とし、一塁側ベンチ横に簡



易得点板を設置している。ここ数年の利用状況は、町外の社会人チームの練習場としての利用が多くなっている。

西北地域の小・中学校の野球大会は、五所川原市と鱒ヶ沢町にある野球場で開催されていることから、町教育委員会としては、「中泊町健やか少年野球大会」等ができるようにグラウンド整備、緊急性のある補修、軽微な補修等を実施しながら、施設の維持管理をしていく。

議員 昨年12月議会に陸上競技場の整備を求める請願が提出され採択されたが、その後の状況はどうか。

長 課 町では、令和3年10月21日に開催された西北圏域2市4町での県知事への「重点事業要望」において、陸上競技場を念頭に「広域の大会等で利用するスポーツ施設の維持管理支援について」を町単独の重点事業として要望した。要望に対する県の今後の処理方針



は「学校施設環境改善交付金について、十分な財源を確保するとともに、補助率の拡充や実情に即した補助単価の引き上げ、地方公共団体のニーズに対応した対象事業の拡充を図ること等について、全国都道府県教育長協議会を通して、引き続き国に働きかけて参ります。」と示されている。

町としては、子どもたちが生まれ育った地域で、より良い環境でスポーツに親しみ、スポーツを通して健やかに成長できるよう、広域の大会等が開催される基準のスポーツ施設について、市町村単独ではなく、広域で維持管理していきけるような新たな枠組みづくりや費用の支援について、今後も引き続き、五所川原圏域定住自立圏の会議の場で協議を重ね、県へ要望を続けていく。



令和3年第3回中泊町議会臨時会

こどもり学園 物品購入契約可決

令和3年第3回中泊町議会臨時会が11月9日に開催されました。報告1件、議案1件について審議され、承認、可決されました。

補正予算

■令和3年度中泊町介護
保険事業特別会計補正
予算第3号

補正前

18億5143万6千円

補正額

432万円

補正後

18億5575万6千円

主な歳出(補正額)は次のとおり。

- 総務費
 - ・介護施設等感染拡大防止対策事業補助金
- 432万円

契約

■財産の取得について

令和4年4月開校のこどもり学園の備品購入に際し、指名競争入札による物品売買契約を締結にあたって、中泊町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例の規定により、議会の議決を求めるもの

契約者

アビシジャパン中泊支店
支店長 塚本 山和
契約額
4730万円(税抜)

傍聴席は、あなたの席です!!

令和4年第1回定例会は3月上旬です。会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。皆さんの傍聴をお待ちしております。令和3年第4回定例会の傍聴は11名でした。
※耳が不自由な方にはイヤホンをお貸しします。遠慮なくお申し出ください。
※議場は車椅子での入場ができます。

～新型コロナウイルス感染症まん延防止にご協力ください～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴される方には次のことをお願いしています。

- ・発熱があるなどの体調不良の方、マスク着用のない方の入場はお断りします。
- ・入場時には検温をし、37.5度以上ある方の入場はお断りしています。
- ・入場時には手指消毒をお願いします。



議会中継は初日から最終日までインターネット配信しています。

インターネットの視聴は

<http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

でご覧になれます。

役場・パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館ロビーにも中継されています。ぜひ、ご利用ください。

また、議会会議録もHPで閲覧できます。平成31年第1回中泊町議会定例会より会議録が掲載されています。閲覧の方法は、中泊町役場ホームページ → 議会 → 会議録 となります。

活動報告

知事を囲む行政懇談会

11月2日(火)にホテル青森(青森市)で、知事を囲む行政懇談会が開かれ、川山議長が出席しました。

青森県町村議会議長会が主催し、各郡議長会代表による要望がされ、三村知事や関係部長らが回答しました。

西北津軽郡からは深浦町議会議長から「青森県日本海における洋上風力発電事業の推進について」と題した要望を伝えました。



町善行・功労者表彰式



11月26日(金)に総合文化センターパルナスで町善行・功労者表彰式が開かれ、川山議長が祝辞を述べました。

公共の福祉増進に貢献した人や町民の模範となるべき人を対象に、今年度は1団体と個人8人に表彰が行われました。

受賞者を代表して秋元正美さんは「支えてくれた皆様へ恩返しができるよう努めたい」と謝辞を述べました。

第7回 中泊町社会福祉大会

12月9日(木)に総合文化センターパルナスで第7回中泊町社会福祉大会が開催され、町議会を代表して川山議長が祝辞を述べました。

町社会福祉協議会が2年に1度開き、社会福祉発展の功労者への表彰や講演などを通じて、社会福祉の一層の充実を目指すために実施しています。



委員会だより

議会運営委員会

○令和3年11月1日(月)
第7回議会運営委員会

〈案件〉

- (1) 令和3年第4回中泊町議会定例会会期日程及び議会運営に関する事項について
- (2) その他

○令和3年11月22日(月)
第8回議会運営委員会

〈案件〉

- (1) 一般質問について
- (2) 提出議案について
- (3) その他



議会運営委員会の様子

○令和3年12月6日(月)
第4回議会運営委員臨時会

〈案件〉

- (1) 役員の改選について

青山雅晴委員から委員長の辞任届が提出されたことにより、辞任の許可、新委員長及び副委員長の選任について協議しました。

新委員長には**秋元隆委員**、副委員長には**塚本悦子委員**が就任しました。

広報委員会 (委員長 成田 直人)



広報委員会の様子

○令和3年10月18日(月)
第4回広報委員会

〈案件〉

- (1) 議会ガイド第66号(案)について
- (2) その他

12月	11月	10月
22日 五所川原地区消防事務組合議会第4回定例会	29日 第4回中泊町議会定例会(開会)	28日 中泊町敬老会
9日 第7回中泊町社会福祉大会	26日 中泊町善行・功労者表彰式	20日 青森県町村議会議長会
7日 第4回中泊町議会定例会(閉会)	22日 第8回中泊町議会議会運営委員会	18日 第4回中泊町議会広報委員会
6日 第4回中泊町議会定例会(一般質問)	18日 中泊町文化観光交流協会第1回定例理事会	15日 西北津軽郡町議会議長会第2回協議会
	9日 令和3年第3回中泊町議会臨時会	2日 青森県立中里高等学校閉校記念式典
	2日 知事を囲む行政懇談会	
	1日 第7回中泊町議会議会運営委員会	
		正副議長・事務局長研修会

感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に 爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのぼすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんを洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやる

- マスクがない時
- マスクを着用する(口・鼻を覆う)
- ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
- 袖で口・鼻を覆う
- マスクがなくても
- 肘で口・鼻を覆う
- 袖で口・鼻を覆う

何もせずに咳やくしゃみをする

正しいマスクの着用

- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴムひもを耳にかける
- 隙間がないよう鼻まで覆う


咳やくしゃみを手でおさえる

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

詳しい情報はこちら

厚労省 検索



編集後記

▼2022年、干支は「壬寅(みずのえ・とら)」。

「厳冬を耐えて内に蓄えた陽気」で次代の礎となる年。

と言われ、今年最初の「議会ガイド」の発行。私達広報委員も試練を耐えて努力を重ねつつ、町民の皆さんへ確かな情報発信の礎となるよう精励しますので、叱咤激励をお願いしたい。

▼待望の「こどもり学園」が4月1日に開校する。施設一体型小中一貫校、学校運営協議会設置のコミュニティ・スクールであり、県内でも実践的な運営形態のため注目が高い。多様性の次代とデジタル社会へ変容する過程で、児童・生徒が自らの夢や目標を切り開いていける教育環境と教育活動の場を第一義とし、防災拠点や郷土芸能・文化を通して交流を深める場を併せ持つことから、児童・生徒をはじめ保護者や住民の期待は膨らむ。

〈委員長・成田直人〉